

# 田畑 泰彦 先生 特別講演

## 先端医療における バイオマテリアルの重要な役割 ～ DDSと再生医療 ～

いま、がん治療や免疫治療で注目されている技術のひとつにDDS (Drug Delivery System ドラッグ・デリバリー・システム)がある。治療対象となる臓器や組織、病原体などに薬剤を効率よく送り込むための新素材や技術を指す言葉だが、DDS研究の第一人者の田畑先生は、「DDSは単に最先端の薬のための技術にとどまらない。工学・医学・薬学を融合して、再生医療の発展に重要な役割を果たす21世紀の基盤技術だ」と力説する。DDSと先端の医療材料がもたらす可能性とは・・・？



<講師紹介>

京都大学再生医科学研究所  
生体組織工学研究部門  
生体材料学分野 教授

平成26年 **11**月**5**日(水)

時間: **17:30** ~ 18:30

場所: 基礎第1講義室

対象: 学部生、大学院生、教職員

1959年大阪府生まれ。81年京都大学工学部高分子化学科卒業。83年同大学大学院工学研究科博士前期課程高分子化学専攻修了。91～92年米国マサチューセッツ工科大学、米国ハーバード大学医学部外科客員研究員。96年生体医療工学研究センター助教授。2000年より現職。工学博士、医学博士、薬学博士の3つの博士号を持つ。  
著書に『絵で見てわかるナノDDS』『患者まで届いている再生医療誘導治療』など。

平成26年度 特別講演事業

<お問合せ>

化学教室 酒井宏水(内2262)